



## 2023年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月7日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4992 URL <https://www.hokkochem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 綿井 聡 TEL 03-3279-5152  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月10日 配当支払開始予定日 2023年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2023年11月期第2四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	28,313	5.8	3,696	10.7	4,006	5.3	2,555	△4.3
2022年11月期第2四半期	26,763	12.7	3,338	59.1	3,804	56.7	2,671	58.8

（注）包括利益 2023年11月期第2四半期 3,534百万円（31.9%） 2022年11月期第2四半期 2,680百万円（18.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	94.34	—
2022年11月期第2四半期	98.63	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第2四半期	66,598	41,476	62.3
2022年11月期	57,566	38,240	66.4

（参考）自己資本 2023年11月期第2四半期 41,476百万円 2022年11月期 38,240百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2023年11月期	—	12.00	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	4.8	4,600	△2.7	5,300	△10.2	3,800	△9.8	140.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期2Q	29,985,531株	2022年11月期	29,985,531株
② 期末自己株式数	2023年11月期2Q	2,904,485株	2022年11月期	2,904,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期2Q	27,081,116株	2022年11月期2Q	27,081,504株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中で、緩やかな回復の動きが見られました。景気の先行きについては雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続いていくことが期待されます。しかしながら、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、「収益構造改革」、「造り方改革」、「働き方改革」の三つの改革を柱とした、5ヵ年経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030 1st Stage for Creation」（2021年11月期～2025年11月期）の経営目標達成に向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力しております。また、企業理念に基づく「SDGsへの取り組み方針」を定め、その達成を目指しております。

当第2四半期の業績は、農薬事業における販売が順調に推移したことから、売上高は、28,313百万円、前年同期比1,550百万円（5.8%）の増収となりました。

利益面では、主に売上の増加により、営業利益は、3,696百万円、前年同期比357百万円（10.7%）の増加、経常利益は、為替差損（2百万円）を計上したものの、4,006百万円、前年同期比202百万円（5.3%）の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の増加により、2,555百万円、前年同期比116百万円（4.3%）の減少となりました。

セグメントの概況については以下のとおりです。

## 〔農薬事業〕

農薬事業の売上高は2023年度の農薬販売価格が値上げになったこと、国内販売および海外販売（アジア向け）が順調に推移したことから、18,544百万円、前年同期比1,391百万円（8.1%）の増収となりました。営業利益は、原材料費の上昇や北海道新工場の減価償却費の増加があるものの、売上の増加により、1,205百万円、前年同期比213百万円（21.5%）の増加となりました。

## 〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル事業の売上高は、電子材料分野におけるフォトレジスト用原料等が好調に推移しましたが、樹脂分野における石化用触媒等が海外経済減速等の影響を受けて需要が減少し、中国国内での販売も減少したことから、8,833百万円、前年同期比11百万円（0.1%）の減収となりました。営業利益は、原材料価格低下等原価低減や物流費の減少等により、2,449百万円、前年同期比121百万円（5.2%）の増加となりました。

## 〔繊維資材事業〕

繊維資材事業の売上高は、環境配慮型の再生繊維素材の販売増加により、929百万円、前年同期比171百万円（22.6%）の増収となりました。営業利益は、売上が増加したことにより、47百万円、前年同期比26百万円（119.6%）の増加となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は66,598百万円となり、前連結会計年度末比9,032百万円の増加となりました。主な内訳として、受取手形、売掛金及び契約資産、原材料及び貯蔵品、投資有価証券が増加した一方、現金及び預金、商品及び製品が減少しております。

負債の残高は25,122百万円となり、前連結会計年度末比5,797百万円の増加となりました。主な内訳として、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加した一方、未払金が減少しております。

純資産の残高は41,476百万円となり、前連結会計年度末比3,236百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は62.3%となり、前連結会計年度の66.4%から4.2ポイント減少しております。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、未払費用の減少により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益、棚卸資産の減少、短期借入金の増加により、前年同期比129百万円増加し、当第2四半期連結累計期間は2,001百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,474百万円の減少（前年同期は8,759百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,981百万円、棚卸資産の減少2,228百万円等の資金の増加があった一方、売上債権の増加13,347百万円等による資金の減少によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,450百万円の減少（前年同期は1,362百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,456百万円によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,105百万円の増加（前年同期は7,564百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,400百万円、配当金の支払298百万円による資金の減少があった一方、短期借入金の増加4,803百万円、長期借入による収入1,000百万円による資金の増加によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期の連結業績予想につきましては、2023年1月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,814	2,001
受取手形、売掛金及び契約資産	11,318	24,675
商品及び製品	11,908	8,589
仕掛品	392	439
原材料及び貯蔵品	5,281	6,338
返品資産	12	3
その他	934	877
流動資産合計	34,659	42,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,516	5,364
機械装置及び運搬具（純額）	4,597	4,502
土地	962	962
その他（純額）	658	373
有形固定資産合計	11,733	11,201
無形固定資産	615	569
投資その他の資産		
投資有価証券	9,790	11,123
繰延税金資産	74	93
返品資産	45	56
その他	670	652
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	10,559	11,905
固定資産合計	22,907	23,675
資産合計	57,566	66,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,548	7,621
短期借入金	97	4,900
1年内返済予定の長期借入金	1,400	—
未払金	3,012	1,499
未払費用	3,303	2,658
未払法人税等	988	1,305
未払消費税等	9	731
返金負債	141	45
その他	53	48
流動負債合計	14,552	18,807
固定負債		
長期借入金	—	1,000
退職給付に係る負債	2,595	2,540
繰延税金負債	1,510	1,973
返金負債	546	682
その他	123	120
固定負債合計	4,774	6,315
負債合計	19,325	25,122
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	26,977	29,234
自己株式	△1,311	△1,311
株主資本合計	31,488	33,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,955	6,898
為替換算調整勘定	401	468
退職給付に係る調整累計額	397	364
その他の包括利益累計額合計	6,752	7,731
純資産合計	38,240	41,476
負債純資産合計	57,566	66,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
売上高	26,763	28,313
売上原価	19,881	21,091
売上総利益	6,882	7,221
販売費及び一般管理費	3,544	3,525
営業利益	3,338	3,696
営業外収益		
受取利息及び配当金	93	126
受取手数料	114	127
為替差益	231	—
その他	54	79
営業外収益合計	491	332
営業外費用		
支払利息	22	15
為替差損	—	2
その他	4	5
営業外費用合計	26	21
経常利益	3,804	4,006
特別利益		
固定資産売却益	16	0
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産除却損	18	18
投資有価証券売却損	—	7
その他	1	—
特別損失合計	18	25
税金等調整前四半期純利益	3,802	3,981
法人税等	1,131	1,426
四半期純利益	2,671	2,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,671	2,555

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	2,671	2,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	943
為替換算調整勘定	150	68
退職給付に係る調整額	△50	△32
その他の包括利益合計	9	979
四半期包括利益	2,680	3,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,680	3,534

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,802	3,981
減価償却費	617	934
のれん償却額	19	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△119	△101
受取利息及び受取配当金	△93	△126
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△659	—
返品資産の増減額 (△は減少)	△49	△3
返金負債の増減額 (△は減少)	709	39
支払利息	22	15
固定資産除却損	18	18
固定資産売却益	△16	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,641	△13,347
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,498	2,228
仕入債務の増減額 (△は減少)	△174	2,069
未払金の増減額 (△は減少)	151	△285
未払費用の増減額 (△は減少)	△678	△642
未払消費税等の増減額 (△は減少)	458	919
その他	△68	△219
小計	△8,202	△4,499
利息及び配当金の受取額	93	126
利息の支払額	△22	△19
法人税等の支払額	△627	△1,083
法人税等の還付額	0	1
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,759</b>	<b>△5,474</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	—	20
有形固定資産の取得による支出	△1,361	△1,456
有形固定資産の売却による収入	28	0
無形固定資産の取得による支出	△18	△22
その他	△10	7
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,362</b>	<b>△1,450</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,835	4,803
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,400
配当金の支払額	△271	△298
その他	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,564</b>	<b>4,105</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	109	7
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△2,448</b>	<b>△2,813</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,321	4,814
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,873</b>	<b>2,001</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第2四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,154	8,844	758	26,756	7	26,763	—	26,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	6	6	267	274	△274	—
計	17,154	8,844	764	26,762	275	27,037	△274	26,763
セグメント利益	992	2,328	21	3,341	6	3,347	△9	3,338

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去額11百万円及びのれんの償却額△19百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,544	8,833	929	28,306	6	28,313	—	28,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	8	8	262	271	△271	—
計	18,544	8,833	937	28,315	269	28,583	△271	28,313
セグメント利益	1,205	2,449	47	3,701	6	3,708	△12	3,696

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去額8百万円及びのれんの償却額△19百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。